

漆器を洗ふ時に、熱湯を用ひると漆がはげますから、ぬるま湯を用ひるやうにしなければなりません。

問 漆器の拭き方に就いて、調べなさい。

陶製のもの 茶碗類は、糸底が粗いと他の器物に傷をつけますから、糸底と糸底とをすり合はせるか、やすり紙でよくすつてから使用します。家屋の周囲とその利用 農村など、家のまはりの広い場合はもちろんのこと、都會などの僅かな空地でも、心がけしだいいろいろに利用することが出来ます。

問(イ) 家のまはりをどんなことに利用してゐますか。

(ろ) まだ利用することのできる餘地はありませんか。もしあれば、利用の計畫を立ててごらんさい。

狭い空地や、空箱などを利用して、季節の野菜を作り、家の軒下や、物置小屋などを利用し

高等科家事

第一學年用(第二分冊)

て、鶏・豚・兎・山羊などを飼ふのはよいことです。又、土地によつては、池を掘り、流れなどを利用して、鯉や鯔などを飼ふのもよいでせう。

これらのことは、子どもの教育にも大切なことであり、家族の健康のためにもよく、又増産にも協力することになります。

問 臺所の廢物・ごみ・落葉などを活用する途はありませんか。

(二) 住居と保健

住居は、保健上、日當り・採光・通風・換氣などが適當でなければなりません。

日當り 南向きや、東南向きに作られた家は、よく日が當ります。家の向きが悪かつたり、まはりに他の建物や樹木があつて、そのために日光を十分受けることができないと、健康によくありません。さういふ場合には、窓の位置や、大きさなどを工夫したり、樹木を切つたりして日がよくさすやうにし、又仕事を戸外に持ち出してすることなどもよい方法であります。

問(イ) 南向きや、東南向きの家は、なぜ日當りがよいのですか。

(ろ) 日中、家をしめきつておくことは、保健上なぜよくありませんか。

採光 採光のよしあしは、眼の衛生や、仕事の能率に關係が多いものです。日中は、窓や扉を工夫し、又、家のまはりの情況など考へて、適度に光線を取り入れるやうにしなければなりません。

昭和二十一年六月廿四日 總刷印刷
昭和二十一年八月三十日 總刷發行
【昭和二十一年六月廿四日交部省發賣】

高等科家事 第一學年用(第二分冊)

定價 金 拾 錢

著作權所有 發行所 文 部 省

著作發行者

東京都小石川區久堅町一〇八番地

總刷發行 日本書籍株式會社

兼印刷者 日本書籍株式會社

代表者 木村 源 之 助

東京都小石川區久堅町一〇八番地

印刷所 日本書籍株式會社

發行所 東京都小石川區久堅町一〇八番地
日本書籍株式會社

Approved by Ministry
of Education
(Date June 24, 1946.)

問

光線が強くはいりすぎる時の調節法を、工夫してごらん下さい。

夜は、多く電燈によつて照明します。電燈の明かるさは、部屋や仕事によつて違へなければなりません。一疊當り十ワットぐらゐが最もよいとされてゐます。必要な明かるさが得られない場合には、あかりを近づけて、局部を適當な明かるさにするやうにします。

あかりがまぶしい感じを與へる時には、眼のためによくないばかりでなく、物を見にくいものですから、適當な高さに電燈を吊るし、笠の形なども工夫して、まぶしさを和らげることが必要であります。つや消し電球などを用ひるとよいのですが、電力を多く消費する缺點があります。なほ電燈の笠などが汚れてゐると、明かるさを減じます。

電燈をつけたまゝ布や紙で包んだり、コードのおぼひが破れたりすると、火災のもとになることがありますから、よく注意しなければなりません。

問

電燈を掃除する時に、注意しなければならないことはありますか。

(ろ) (は)

コードの取扱ひ方に就いて、注意しなければならないことを調べてごらん下さい。

通風・換氣 室内に濕氣の多いのは、衛生上よくないばかりでなく、家屋や家具などのためにもよくありません。そこで、通風窓や戸隙子を開放したり、住居の周圍に通風を妨げるものがあれば、これを取り除いたりして、通風をよくしなければなりません。

又、室内の空氣が汚れると、衛生上極めてよくありませんから、窓や戸隙子の開閉に注意しなければなりません。夜間の換氣のためには、欄間を設けることなども特に効果があります。

問

通風が、家族の健康や、家屋・家具の保存になぜ必要ですか。

(ろ)

換氣に特に注意しなければならない場合を、考へてごらん下さい。

(三) 住居と水

水と人體 水はからだのはたらきに缺くことのできないものであります。人はこの必要な水を外界から取つて、體內で利用し、再びこれを外に出します。からだが必要とする水の量は、年齢や運動等によつて違ひますが、成人一日の必要量はおよそ三リットルであります。

問

夏には、なぜ水がたくさん欲しいのでせうか。

水の用途 水は、單に飲料として必要であるばかりでなく、日常生活に廣く用ひられます。洗濯・清掃・雑用等の家庭用水から、農耕・工業・防火用水など、考へて見ると、どんなに水が大切であるかがわかります。

給水 都會では、水道の水が多く用ひられますが、農村などでは、井戸や川・泉・池・湖の水や雨水などが普通に使はれてゐます。

上水 上水を普通には水道と呼んでゐます。上水の水源は多くは河川ですが、時に井戸、又は湖の場合もあります。上水は、これらの水源から水路によつて貯水池にみちびかれ、次に沈澄池に送られて、水中の土砂や粘土等を沈澱させ、濾過池に送られて、細かな雜物や細菌が濾されるのです。それでもなほ細菌が残りますから、更に殺菌を行なふ場合もあります。かうしてきれいになった水は配水池へ送られ、こゝで壓力が加へられて各家庭へ配水されるのです。水道になれると水の有難みを忘れがちなりますが、水は今日では工業方面にも多量にいるものですから、便利だから

といつて一滴でもむだにしてはいけません。水の節約することは天の恵みへの感謝であります。水道の水は飲料として大體安全ですが、断水してゐる時に蛇口をあけておくと、逆にさもない水を吸ひこんで、それから病氣がひろがつたり、導水管のこはれから汚物を吸ひこんだりすることなどもありますから、注意しなくてはなりません。

井戸 水道のある所でも、旱害・水害・震災等の不時の故障によつて、断水や制限給水の行なはれることがありますから、井戸が必要であります。

井戸水には、まはりの事情によつて、不潔な物や、病原菌等がはいることがありますから、その構造・設備を完全にする必要があります。第一に、なるべく深い方がよく、次に位置は汚水溜・汲み取り便所・厩などの不潔な場所とでさるだけ離れた所を選びます。

問 井戸は、なぜ深いほどよいのでせうか。

あけ放しの井戸は、ごみや昆虫・鼠その他不潔なものがは入り易く、時には細菌もはいるおそれがありますから、蓋をするやうにしたいものです。井戸をすつかりふさいで、ポンプで汲み上げるやうにしたものもあり、衛生上からみればこの方がよいのです。そのほか、深い所から地下水をとるための掘抜井戸もあります。

井戸がはは、地面から一メートルぐらゐ高くして、まはりにはコンクリートなどで固め、できるだけ不潔な物がはまらないやうにすることが大切です。又、そのまはりの流しは、殊に清潔に氣をつけなければなりません。

飲料水 飲料水は、人の健康と深い関係がありますから、私どもはその適否に就いて、よく知つて

おかなければなりません。普通無色透明で、無味無臭であれば、それで飲料に適するやうに考へられ易いのですが、かうした外見だけではきめられません。その中に、毒物が含まれてゐないこと、病原菌が含まれてゐないことなどが、飲料水の大切な條件です。しかし、蒸溜水のやうに純粋な水は味がないばかりでなく、飲料水として適當ではありません。

井戸水など、飲料にする時は、これを淨化することがあります。家庭で殺菌するには、煮沸するか、又はさらし粉を使ひます。さらし粉三グラムを、水百五十立方センチ中に溶かし、その上ずみ液を用ひるのです。水量千リットルに對し、この液を百二十立方センチ加へて、よくかきまぜれば、三十分間で細菌は死んでしまひます。傳染病流行地では、この液を一日に二、三回井戸に入れることがあります。又雑物・金氣などは、濾して取り除きます。

問 さしわたし一メートル水深二メートルの井戸の水を殺菌するにはさらし粉がどのくらゐいらいますか。

雑用水 雑用水は、飲料水のやうに殺菌する必要はありません。しかし、硬水や、鐵分を多く含んだ水は、洗濯用としては不適當です。

硬水はソーダ灰などを加へて、軟水にすることが出来ます。

防火用水 常に防火用の水を用意することは、大切な心掛です。防火用水に蚊が発生することもあります。これは隙間のないやうに蓋をしたり、水を三、四日毎にかへたり、金魚・めだかなどの小魚を飼育することによつて防げます。

問 冬、防火用水が凍らないやうにするのには、どうすればよいのでせうか。

排水 給水とともに、排水は保健上大切なことです。特に都會では排水に心がけなければなりません。

家のまはりの水溜りは、不潔であるばかりでなく、蚊の發生する場所ともなります。

排水路は閉鎖してあるのがよいのですが、開放してある場合には、掃除を怠らないやうにしなければなりません。

問 自分の家の排水に就いて圖示し、もつとよくする方法はないか工夫してごらん下さい。

(四) 氣候と住まい方

わが國は、四季の變化に富んでゐますから、家屋は、その氣候に應じた住まい方を工夫することができると作られてゐます。

夏の暑さを防ぐには、風通しをよくし、又、直射日光をさけるために、廂の出し方を工夫したりよしずを用ひたりします。

問 (イ) 風通しをよくすれば、なぜ涼しく感じるのですか。

(ロ) 自分の家の窓の位置を調べ、風通しがよいかどうか調べてごらん下さい。

(ハ) 瓦・トタン板・板・藁等で葺いた屋根の中で、どれが、涼しいでせうか。それはなぜでせうか。

冬の寒さを防ぐには、太陽熱を利用して、室内を温めるやうに工夫します。それでも耐へられない時には、火鉢・こたつ等を用ひます。その場合、火の始末に十分氣をつけるとともに、換氣にもよく注意しなければなりません。

問 (イ) 火の用心をよくするためには、火鉢やこたつの用ひ方に、どんな注意が必要ですか。

(ロ) 火鉢を用ひたとき換氣を怠れば、衛生上なぜ悪いのですか。

(ハ) こたつに入つてゐて、氣持が悪くなる場合がありますが、これはどんなことに注意すれば防げるでせうか。

酷暑・酷暑の地方では、それ／＼防暑・防寒の方法が昔から傳はつてゐますから、それらの地方に住む場合には、よくその理由を研究して、これを取り入れることも必要です。しかし、最も根本的な方法は、どんな暑さ寒さにもくじけないやうな、剛健な心身を鍛へることであることはいふまでもありません。

(五) 災害防止とその處置

火災・震災・風害・水害・盗難等の災害に對しては、平素から豫防の方法を工夫しておくことが必要であります。

火災 家屋の外側や、屋根や、火を使ふ場所のまはりを、燃えにくいもので作つて、失火・類焼のおそれを少なくすることが出来ます。

問 (イ) 火災の原因には、どんなものがありますか。

(ロ) 火災を豫防するには、ふだんどんな點に注意しなければなりませんか。

出火の場合には、風向きを見定めて、安全なところに祖先の靈位を移し、老人や子どもを避難させ、消火に力めなければなりません。

震災・風害 暴風や地震の被害を豫防するには、家屋の基礎工事や構造を丈夫にすることが、最も

大切です。家屋の構造を丈夫するには、筋違・燧・方杖・金物などを多く用ひます。

問(い) 暴風の多い時節はいつ頃ですか。暴風の被害を少くするには、どんな工夫がいりませんか。

(ろ) 地震の際の避難場所を、自分の家の屋内と屋外に就いて、考へてごらんさい。

地震の際には、これに伴ふ火災によつて、被害が大きくなり勝ちですから、避難する前に必ず火の始末をすることが大切であります。

水害 洪水のために浸水の憂ひがある場合には、先づ祖先の靈位と老人や子どもを、安全な場所に移し、飲料水・食物などの準備をしなければなりません。減水後には傳染病が流行し易いものですから、特に、衛生に注意する必要があります。

問 水害後には、どんな病氣が流行し勝ちですか。

盗難 盗難は、戸締りの不完全なために起る場合が多いものですから、寝る前には、必ず戸締りを調べる習慣をつけておきませう。

盗難にかゝつた時には、現狀に手をつけないやうにして、すぐに肩け出なければなりません。

(六) 郷土の住宅の改善

郷土の住宅はその土地の風土や習慣などに應じて、多年の経験の結果、出来たものですが、時勢の進運に伴つて、或る程度改めなければならぬことがあります。

自分の家に就いて、いろ／＼な點を考へてごらんさい。

問(い) 寢室は、十分睡眠を取るのに適してゐますか。衛生上からはどうですか。

(ろ) 仕事場は明かるくて、風通しがよいでせうか。仕事の能率の上からはどうでせうか。

(は) 臺所は暗くないでせうか。又、立ち働きに便利でせうか。

(に) 母屋の低かにどんな建物がありますか。それらは、母屋から適當な位置にありますか。

五、燃料

(一) 燃料の種類と使用方

問(い) 自分の家の燃料に就いて、次のことを調べてごらんさい。

イ 炊事には、主に何を使つてゐますか。

ロ 風呂は何で沸かしますか。

ハ 寒い時に、部屋は何であたためますか。

(ろ) 燃料には右のほかにどんなものがありますか。

燃料の用途はこのやうに廣いものです。しかも燃料は、一度使つたら同じ物を二度使用することができません。その使用に際しては、できるだけ工夫して節約につとめなければなりません。

燃料はその種類によつて發熱量が違ひますが、どの燃料であつても、その發熱量の全部を有効に使ふことは殆どできません。けれどもつとめて燃料を効率よく使ふやうに工夫することは、その節約とともに大切なことです。それには、効率・燃焼用具や使用方法によつて大變違ふものであることを、よく知つてゐなければなりません。

薪とかまど

問い 四つの図のかまどは、それぞれどの部分に大きな透ひがありますか。

(ろ) 一圖と二圖のかまどの燃し方は、どう違へればよいでせうか。それはなぜですか。

(は) 三圖のかまどの(イ)は、それぞれどういふ役目をしますか。これらのかまどの上手な燃し方を考へなさい。

(に) 四圖のかまどの特徴はどこですか。一圖や二圖のやうに通風口のないかまどを上手に燃すには、どういふ方法がよいでせうか。

焰は先の部分が最も温度が高いものです。又、かまどのあとに残るぬくもりが非常に大きいものですから、いつもこれらを利用するやうに心がけなければなりません。

實驗(イ) 火を引いてのち何時間くらゐ温かい

かを、どれかのかまどでためしてごらんなさい。

(ロ) 自分の家のかまどは、どんな形をしてゐますか。

木炭とこんろなど 木炭には黒炭と白炭があります。黒炭は大體雜木が材料となつてをり、焼き方の上から質が粗くなつてゐて、重さの割合にかさばつてゐます。白炭は大體堅木を材料とします。

木炭や薪は、よく乾いたものを使ふ方が效率がよいので、ぬれる場所においたり、木炭に水をかけたりするのはよくありません。

實習(一) 黒炭と白炭とを同じ量とり、同じくらゐの大きさに切り、それぞれ別のこんろに入れて、一定量の湯を沸かすのにいる時間と、木炭の減り方とを觀察しませう。

黒炭と白炭との減り方はどう違ひますか。それはなぜでせうか。

實習(二) 同じ種類の木炭を、大形一箇六十グラムくらゐと小形一箇十グラムくらゐの大きさに切りませう。

それ、百八十グラムくらゐを取り、別のこんろに入れて、一定量の湯を沸かすに必要な時間と炭の減り方とを觀察しませう。

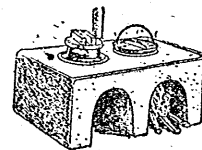
イ 木炭の大きさと燃え方とはどんな關係がありますか。

ロ こんろに入れる木炭の量は、どのくらゐがよいでせうか。

實習のすんだのち、こんろに残り火を適當に入れて湯をかけ、こんろの下の口を開閉して、その影響を觀察してごらんなさい。

これで黒炭と白炭の性質の特徴や、炭の大きさと燃え方や、こんろの下の役目等がわかりまし

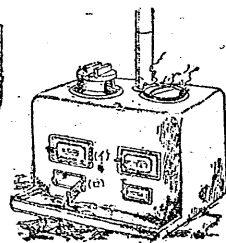
第一圖



第二圖



第三圖



第四圖



た。けれども、私どもの家の木炭は、いつも要求する性質を備へてゐるとは限りませんから、使用目的に適ふやうに、使ひ方を工夫することが大切です。

問(イ) 黒炭を白炭のやうに長い時間もたせるのには、どうしたらよいでせうか。

(ロ) 白炭の火つきを早くし、燃え方を早めるには、どうしたらよいでせうか。

薪や木炭を燃すのに、空氣の流通の良し悪しが、その燃え方に非常に深い關係を持つことがわかりました。

問 火鉢とこんろを比べて、その構造やはたらきを考へてごらんさい。

このやうに、火鉢にはいろ／＼の種類があります。その形や構造によつて、燃料の燃え方が違いますから、使用の場所や目的によつて、適當なものを選ばなければなりません。

使用のすんだ火鉢やこんろは、空氣の流通を止めて、直ぐに火を消します。こんろの上に、適當な大ききの蓋をのせ、下の口を閉ぢると、こんろが火消し壺の役目をするようになります。一時いらなくなつたこんろの下の口を閉ぢて、水を入れた鍋をかけておいたり、火鉢の火に灰をかぶせておくのは、この理によるのです。

こんろのぬくもりも相當大きいから、むだにしないやうに利用させよう。

問 火消し壺の取扱ひにはどんな注意がいりますか。

こたつ・あんくわ

問(イ) こたつやあんくわは、火鉢に比べてどんな長所や短所がありますか。

(ロ) こたつや、あんくわを取り扱ふ時に、注意しなければならぬことは何々ですか。

石炭と石炭かまど 石炭にはいろ／＼の種類があります。一番古い時代に出来たのは無煙炭で、燃える時に煙が出ず、火力が強く、焰が短いものです。これに次いで古いものは半無煙炭で、そのほか瀝青炭・褐炭・亞炭等の順に、質が悪くなり、灰や水分も多く、又、火力も弱くなります。燃える時、一番煤が多く、焰が長いのは、瀝青炭であります。

石炭を燃すには、特別の器具を使ひます。その要點は、火格子^{ヒコ}を使ひ、煙突を附けて、通風を完全にし、又、火力を適當に調節することが出来るやうにしてあることです。

コークス 石炭を蒸し焼きにして、コークスや石炭ガスを作ります。コークスは煙を立てず、割合に經濟的な燃料ですが、火つきが悪く、一時に多くの量を使用しないと、火が消える缺點があります。

煉炭 煉炭には、工業用と家庭用があり、家庭用のものは煙を出さず、立ち消えしないことが大切であります。家庭で使ふ孔あき煉炭や豆炭は、無煙炭。コークス又は木炭等の粉末を、ソーダ石灰・バブル廢液・糖蜜・粘土等で固めたものです。

問(イ) 煉炭は木炭に比べて、どんな長所と短所とがありますか。

(ロ) 孔あき煉炭や豆炭の上手な使用法を考へてごらんさい。

石炭ガスとガスこんろ 石炭ガスの中には、一酸化炭素がかなり多量に含まれてゐますから、使用法をよく心得て、完全に燃すやうにしないと、火力が弱いばかりでなく、衛生上にも有害であります。

實習 鍋に水を入れてこんろにかけ、マッチをすつて底に近づけてから、ガスの栓を開いて火をつけます。

- イ ガス栓を全部開いて、通風口の大きさをいろいろにかへて、焰の變化を観察させよう。
ロ 通風口を一定にして、ガス栓の開き方をかへて、焰の變化を観察させよう。
ハ 鍋の湯が沸きあがつたら、溫度計を見ながら、それよりさめない程度に火を弱めて観察させよう。

問(イ) ガスに火をつける時、大きな音を立てるのはどういふ時ですか。これを防ぐにはどうしますか。

(ロ) 通風口を調節すると焰はどんなに變化しますか。火力が一番強いのはどんな時ですか。

(ハ) 鍋に蓋をした時としない時では、たぎり続ける火力にどのくらいの違ひがありますか。

(ニ) ガスは他の燃料に比べ、どんな長所と短所とがありますか。

ガスが漏れてゐるやうに思はれる時は、その場所に石鹼水を塗つて、泡が立つかどうかを見ればわかります。ガスの漏れる場所がわかつたらば、びん附け油のやうなものをその部分につけて一時をしのぎ、なるべく早く修繕を頼みませう。

これらの燃料を使ふ時、鍋の形によつても、また效率が違ひます。自分の家で使つてゐる燃料には、どんな形のものが一番よいか、いろいろの形の鍋でためしてごらん下さい。

石炭や、石炭ガスは産業・交通等公共のために利用しなければならぬことが非常に多いものですから、一般家庭では殊にこの點に注意し、つとめて節約を圖らなければなりません。

(二) 燃料の節約

問(イ) 調理をする時、どの燃料でも節約できる方法を考へてごらん下さい。

(ロ) 自分の家で、今まで燃料をどうして節約してゐましたか。もつと節約する方法はないでせうか。

(ハ) 隣組などを利用して、燃料を節約する方法はないでせうか。なほ鋸屑・粗穀・落葉などを利用してごらん下さい。

(ニ) 右のほかに郷土に於いて燃料になるものはありませんか。

(三) 燃料の補助

燃料を用ひないで、ある程度の燃料を用ひたのと同じ効果をあげる方法はないでせうか。

實習(一) 晴天の日ガラス・木・金屬等の器にそれぞれ同量の水を入れて朝から日なたに置き、時々水の溫度を計つてみませう。又、器にガラスの蓋をしてみませう。

イ 最も溫度が昇つた時、何度でしたか。その時は何時頃でしたか。その溫度になるまでには何時間かかりましたか。

ロ 用器の種類によつて、どんな違ひがありますか。

ハ 用器にガラスの蓋をした時としない時では、どう違ひますか。

ニ このほか水の溫度が昇るやうにいろいろ工夫し、日なた水を利用すれば、どのくらい燃料を節約できるかためてごらん下さい。

實習(二) 鍋が十分はいる大きさの木箱又は桶などを用意し、中ほどに鍋がはいるだけのあき間を残して、まはり鋸屑・枯草等で埋めませう。これに湯を沸かした鍋をそのまゝ入れ、鍋の上を蒲團のやうなもので被ひ、箱の蓋をして押しつけて置き、鍋の中の湯の溫度の降り方

を、時々調べてみませう。途中で何回も蓋を取らなければ、更に長く高温が保たれるわけです。

問(イ) 鋸屑・枯葉などのほか、保温材料としてどんなものが適當でせうか。

(ロ) 鍋の大きさが多少違つても、一つの保温箱で間に合ふやうにするには、どうすればよいでせうか。

實習(三) 井戸や水道の水について、次の事を調べて見ませう。

イ 汲みたての水は何度ですか。

ロ 汲みおきの水の温度は、時間がたつに従つてどう變りますか。

ハ イ、ロ、は夏と冬では、どう違ふでせうか。

ニ 井戸水で風呂を沸かす場合、どんな注意があるでせうか。

高等科家事

第一學年用(第三分冊)

六、保健と栄養

(一) 栄養

私どもが成長したり、運動したりするためには、絶えず栄養がいりますから、常に、これを食物によつて、補はなければなりません。

發育中の私どもには、それに適した栄養があります。それが適當でないと、成長はできませんし、病氣にかかり易くなります。妊婦は、自分自身と、生まれる兒とを強くするために、特に栄養に氣をつけることが大切であります。はげしく働く人々は、それに堪へるやうに、食物をとる必要があります。又、老人には、衰へを防ぐために、適當な栄養が必要であり、病人には、その病氣の状態に応じて、適切な栄養が必要であります。

問 栄養の適否が、健康や勤勞力に大きな影響のあることを體驗したことはありませんか。

(二) 食物の成分

栄養を完うするためには、食物をとることが必要であります。食物には、どんな成分が含まれてゐて、それが栄養上どんな役目をもつてゐるでせうか。

私どものからだに必要な栄養分には、蛋白質・炭水化物・脂肪・灰分及びビタミンなどがあり、

昭和二十一年五月十四日 翻刻印刷
昭和二十一年八月十日 翻刻發行
〔昭和二十一年五月十四日文部省登録〕

高等科家事 第一學年用(第三分冊)

新定 價 金 參 拾 錢

著作權所有 著作人 文 部 省

發行所 大阪府西成區津守町五九六番地

印刷所 大阪府西成區津守町五九六番地

代表者 大阪書籍株式會社

印刷所 大阪府西成區津守町五九六番地

Approved by Ministry
of Education
(Date May 14, 1946)

發行所 大阪府西成區津守町五九六番地
大阪書籍株式會社